

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)	◎	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・ホテルの稼働率、単価共に、高い水準で推移している。
	◎	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・全国旅行支援の影響が大きく、宿泊に関しては引き続き大きな伸びとなっている。料飲部門も各種規制が徐々に緩和されてきて、緩やかではあるものの、右肩上がりとなっている。
	○	一般小売店〔土産〕 (経営者)	販売量の動き	・全国旅行支援による国内旅行者の増加と、海外からの個人観光客の受入れが本格化したことにより、来訪者が増えている。また、コロナ禍の間はちゅうちょする方が多かった店内飲食やお土産購入も確実に増え、売上も増えている。また、修学旅行生や遠足の小学生も依然として多い。
	○	百貨店(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前の2019年の同月比で売上をみると、マイナス5%程度と低調だが、ここ3か月の前年同月比をみると、回復傾向にある。
	○	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・半導体の納入遅延も解消されてきて、車両納期が予定より前倒しになり、車両販売ができるようになってきている。
	○	乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・コロナ禍で人流に制限があったが、ある程度解除されたためか、修理関係の来客数が極端に増えている。販売についても、お陰様で来客数が増えている。ただ、残念なことに新車を受注しても納車できない状態は変わらない。2～3か月前と比べると、数段に良くなっている。
	○	一般レストラン 〔居酒屋〕(経営者)	来客数の動き	・早めの忘年会なのか、団体の宴会が若干増えてきている。
	○	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・政府が全国旅行支援の延長を決定したので、少しは現状の良い状態が続くかと思うが、支援策が切れた時の反動が大きくなるのではないかと不安である。
	○	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・やや良くなっているが、飽くまで全国旅行支援のお陰と考えている。
	○	タクシー(経営者)	お客様の様子	・全体的に動きが良くなってきたので、前年同月と比べて10%の増収である。
	○	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・コロナ禍での観光スタイルが確立し、回復傾向にある。また、訪日外国人も徐々に増加していることから、全体的に観光需要が回復しつつある。
	○	設計事務所(所長)	それ以外	・同じ地域で再開発地区の街開きが行われ、少しは景気が上向くのではないかと。
	○	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・エネルギー価格の高騰で、住宅建築費も影響を受けて高騰しつつある。そうしたなかでも新築する客はそれほど減っていない。
	□	商店街(代表者)	お客様の様子	・全国旅行支援は、商店街には影響がない。客の大半は「光熱費、ガソリン、食品等の値上げで家計がひっ迫しているの、旅行どころではない」との声が聞こえてくる。業種転換をして新規オープンした店に、多くの客が列を作っていた。商店街が久しぶりににぎわって、活気に満ちあふれていたが、他店への波及はない。
	□	一般小売店〔精肉〕 (経営者)	お客様の様子	・今月も新規感染者数が増加しているようである。各地でイベントが開催されているが、結果を見れば、前年より新規感染者が増えていることも多い。客も新型コロナウイルス感染症を心配しながら外出を控えている。通常どおり、土日は人が来ているが、平日は閑散としている。
□	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は増加傾向にあるものの、以前のような感染に対する警戒感は薄れているように感じている。しかし、相次ぐ値上げによる生活防衛意識は依然として高く、消費には慎重さが見受けられる。	
□	スーパー(総務担当)	来客数の動き	・来客数は前年並みで客単価も上がらないため、売上も前年並みである。	

□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上は98%、来客数94%、客単価は104%で推移している。以前は弁当、ジュース、サラダの合計3点の買上だったが、弁当とジュースの2点になるといったように、客がプラスチックの商材を買わなくなっている。しかし、値上げの影響があるので、買上額は横ばいである。夜の時間帯の来客数が特に大きく減っており、趣味への消費等、生活必需品以外の買い控えも起きている。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車販売ははまだ本調子ではないものの、中古車等の販売が比較的安定しており、車検整備等のサービス部門も堅調に推移している。ただ、中古車のロシア方面への輸出がほとんどストップしてしまったので、国内在庫が増えて価格下落が見え始めたようである。
□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・前月に比べると、人の動きや販売量がやや鈍っている。なぜか活気が感じられず、何か不安を抱いているようで、客も車の購入などに少し控えめになっているような傾向にある。
□	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・各商材の値上げを消費者が実感し始めている。今までは報道先行に対する警戒感だったが、消費する時点で実感し、買上点数の減少や低価格訴求品への移行等、ネガティブな傾向が表れてきている。
□	その他専門店 [靴小売業]（経営者）	来客数の動き	・最近、学校や地域の行事が開催されて、人の流れが出てきたようである。ただし、高齢者はいまだに出てきていない。新型コロナウイルスの感染第8波が来るのか、地域の学校でクラスター発生によるマイナス要素が出てきている。また、物価高の影響がじわじわと効いてきたようである。仕入値もいまだに上昇している。
□	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・今シーズンは紅葉の状態も良かった上に、全国旅行支援の効果もあり、久しぶりのにぎわいである。
□	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数減少を受けて、人の流れは出てきている。ただし、広報業界への影響はいまだ多大で、受注の減少は依然として改善されていない。
□	通信会社（社員）	単価の動き	・値下げ商材もあるが、圧倒的に値上げ商材が多い。店の値下げの時間帯を狙った客が増えているように感じている。
□	通信会社（営業担当）	単価の動き	・景気対策等により、観光業などの一部では売上の回復が見込まれるものの、全体的には物価上昇により、出費を抑える傾向にある。
□	競輪場（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が、再び増加傾向にあり、感染拡大第8波の影響も心配されたが、来場者の滞留時間が短くはなってきたものの、来場者数に大きな変化はない。
□	美容室（経営者）	来客数の動き	・中国人経営者による国内の工場が、地方でも増えている。日本人を低賃金で雇い、メイドインジャパンの付加価値を付けてECで販売している。30年前に北京にあった日本企業の工場を視察したが、今は労使の立場が完全に逆転してしまったことを痛感している。
□	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・節約意識が強く、以前の消費に戻る気配がない。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・最近、貸店舗等への問合せが増えてきているが、現実にはいまだ成約に至らない。土地等についても引き合いはあるものの、成約には至らない状況である。
□	その他住宅 [住宅管理・リフォーム]（営業）	お客様の様子	・客の自宅へ年末の挨拶回りを早々に始めているが、口々に、当面は修繕は行わないと言われてしている。
▲	一般小売店 [家電]（経営者）	単価の動き	・今月は客の出足が悪い。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・11月に入り、来客数が今期の平均より5から8ポイント落ち込んでいる。新型コロナウイルスの感染第8波への警戒か、行楽需要による落ち込みなのか、図りかねている。

▲	百貨店（店長）	来客数の動き	・10月までは前年比2けた増の来客数を維持していたが、11月中旬からは、ほぼ前年並みの来客数に低減している。新型コロナウイルスの感染拡大、全国旅行支援利用による観光地への旅行客の増加、冬物実売期における気温低下の足踏み状態等が要因だと推察している。商売の実態としては苦戦が続いている。
▲	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・価格高騰により、買上点数の減少や必要な物以外の購入を控える傾向にあり、なかなか数字につながらない。
▲	衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・今の時期は、秋祭りも終わっている。当店の商売は祭り用品が中心なので、売上を大変心配している。新型コロナウイルス感染症が始まってから3年、感染状況が大変な時期には祭りも中止になり、なかなか商売に結び付かなかったが、今年は何とか開催できる状態である。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響はいまだに続いており、祭りに参加する団体が少なかったため、販売量が落ちている。
▲	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染第8波で、当店の顧客は高齢者のため、自分の命を守る行動になっており、本当に街に出てこない状況がずっと続いている。安全な環境を作るといふ何か政策の具体的な話が出てこない、客は動かない。人が動かなければお金も動かないので、この悪い状況がずっと続くような気がして、何とも言いようがない。
▲	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・来客数が微減しており、自治体発行のプレミアム付商品券も終了したので、期待できる外部要因がない。
▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・年配客や地元常連客が減少傾向である。逆に、近県からの旅行者は増加傾向にあり、経済対策の効果は若干あるものの、全体としては低迷が続いている。予約の入り方も、様子をうかがいながらで直前の連絡が多い。相変わらず、新型コロナウイルス感染症による急なキャンセルも、時折発生している。
▲	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・何と言っても次々とやってくる原材料の値上がりで、仕入値がどんどん上がっていることで、仕入れのたびに上がっている物さえある。仕方がないとはいえ、利益には響く。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	単価の動き	・クライアントに取引条件の見直しを依頼しているが、食材費、人件費、諸経費等のコストアップが先行して進む展開となっており、収益面を圧迫してきている。当面は、提供する食事内容を落とさざるを得ない状況となっている。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・11月初旬は割と動きがあったが、中旬以降、新規感染者数がまた増えだして、新型コロナウイルスの感染第8波に入ってしまった。電車に乗っている人も少なく、飲食店等にも客が入っておらず、人通りもない。全国旅行支援が始まっても当地は観光地ではないので、いつもと変わりがなく、タクシーの利用客は減少している。
▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・夏にモデルチェンジした商材は、中級以上のグレードで平均3万円以上値上げしているため、割安だった旧モデルが在庫切れになってからの販売が思わしくない。
▲	通信会社（局長）	お客様の様子	・携帯電話の販売が低迷している。
▲	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・費用が増加しており、やや悪くなっている。
×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前月から一転して悪く、冷蔵庫は84%、洗濯機は66%、エアコン60%、テレビ74%と、特に、耐久消費財が売上を落としている。全体でみても前月比で82%、前年比では85%と振るわない。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前に比べて、近隣の小中学校で学級閉鎖が出る等、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数がまた増えてしまい、出足が鈍っている。物価高や年末年始にお金を使う予定があるためか、今月は買い控えの傾向がある。

	×	都市型ホテル (経営者)	販売量の動き	・季節的に3か月前よりは良くなっているが、下向きである。新型コロナウイルス感染症の発生前の年度と比較して、20%程度の復活なので、これでは長期的に持たない。
	×	通信会社(経営者)	単価の動き	・仕入コストの上昇で、悪くなっている。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・自動車生産ラインが通常に戻りつつあるが、今までの生産減少分を補うような、ばん回計画の動きは見られない。
	○	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・各社とも発注量が多く、当社受注量は前年比1~2割は増えている。これが年内か来年の2~3月くらいまで続くのではないかと。
	□	窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・景気が良いとは言えないが、大きな影響もなく稼働している。
	□	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注や生産が3か月前と同様に推移している。
	□	輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・前月はまずまずだったが、今月はほとんどの取引先で若干落ちており、余り良くない。
	□	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・11月に入って少し暖かい日が続いたせいか、冬物家電、特に、こたつ、ヒーター等の暖房類の物量が前年より15%ほど落ち込んでいる。しかし、行動制限の緩和により外出機会も増え、ウォーキングシューズ等の物量が増えているため、全体的な物量は10%のダウンである。
	□	広告代理店(営業担当)	それ以外	・既に忘年会シーズンに入っているはずだが、目立った宴会も見受けられず、飲食店の苦境は続いているようである。
	□	経営コンサルタント	それ以外	・コロナ禍がやや落ち着きを見せ、ウクライナ戦争が足踏みしているなかで、原料や燃料等の値上がりも一段落し、地域の企業活動や個人消費に手堅い兆しがみられる。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・このところずっと変わらないような感じである。ただ、あともう少しというところまでは行くが、どちらかというところと少し悪くなることを意識するような状態である。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・イベントなどは通常どおりに戻ってきているが、事業所で忘年会を行うところは、まだ少数である。
	□	その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。
	▲	不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・建物の設備改修進行中物件は、順調に進んでいるものの、資材の値上がりで経費増となってしまっている。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、老人保健施設での清掃等の業務が延期や未定になっている。
	×	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・多品種少量生産の当社の取引先50社ほどの内、今月1品でも注文があった取引先は20社であった。ここまで受注依頼が少なくなったことはないのと、大変驚いている。
	×	建設業(開発担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、現政権まで公共工事は順調に推移している。今期公共工事発注は前年比10%減であり、当社売上も前期比10%減と厳しい決算になる。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・行楽時期に入り、当地周辺は観光地なので、かなり来訪客があったものの、日帰り旅行の傾向が多い。求人については、販売や小売店の秋冬物に対応するスタッフ募集等の人員確保に活発さがみられる。製造に関しては、横並びで動きは変わらない。建築関係では増改築や解体による新築が目立っている。

○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は8月と比べ、医療、福祉、その他サービス等で増加がみられ、全数では2.5%の増加となっている。また、前年同月比では11.0%増と、13か月連続で前年を上回り、持ち直しの動きが広がりつつある。
○	学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・国内研修旅行のイベントやその他の学校行事など、前年と比較して、多くのイベント実施が可能となっているため、経済に関しては良い方向に向いているのではないかと。
□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・派遣依頼数に対して新規求職者数が不足しており、人材の取り合いとなっている状況は変わらない。
▲	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・製造関連の派遣求人が減少している。取引先からは生産を社員のみで行い、派遣を採用しない方針だと連絡が入っている。
×	*	*	*